

第19回台北映画祭
最優秀ドキュメンタリー賞
受賞

67th Internationale
Filmfestspiele
Berlin
Panorama

第67回ベルリン国際映画祭
パノラマ部門テディ賞
(ドキュメンタリー映画部門)受賞

第90回アカデミー賞®
外国語映画賞
台湾代表作品

日常對話

黄惠偵(ホアン・フィチェン)監督・撮影 侯孝賢(ホウ・シャオシェン)製作総指揮

カメラの前なら、

「言える」
「聞ける」

こともある

台湾発・娘がカメラを手に
母の本音に迫る、
入魂のドキュメンタリー

2016年/台湾/台湾語、中国語/カラー/88分 原題:日常對話 英題:Small Talk 配給:台湾映画同好会

a Film by HUI-CHEN HUANG HOU HSIAO-HSIEN Presents Director & Camera HUI-CHEN HUANG Executive Producer HOU Hsiao-Hsien Producer DIANA CHIAWEN LEE Director of Photography CHE LIN
Editor JESSIA WAN YU LIN Editorial Consultant Composer CHEN-CHING LEI Sound LIM GIONG / POINT HSU Sound Mix & Design Kiwi Inc. Post Production Modern Cinema © Hui-Chen Huang All Rights Reserved.

娘
チエン

映画監督

見合い結婚した相手は、
博徒で酒乱のDV男だった

母の稼業を手伝うため、
10歳で小学校を退学した

母
アヌ

—死者の魂を鎮める道士

記憶にある限り 母にはいつも“彼女”がいた

暴力を振るう夫から身を守るために、アヌはチエンとその妹を連れて家を逃げ出した。吊い業に対する世間の冷やかな視線、そして周囲に隠すことなく「女性が好きな女性」として奔放に振る舞うアヌへの偏見。さらに娘たちよりも恋人を優先するアヌに、チエンは次第に不信感を募らせ、母娘関係はいつしか他人同士のように冷え切ってしまう。やがて自らも一児の母となったチエンは、家族の姿を映画に撮ることでアヌの本音を聞き出し、自分の秘密を打ち明ける。



「女」であること、「自分」を生きること

2019年にアジアで初めて同性婚が合法化された台湾。だが、1950年代の農村に生まれた母アヌが過ごしてきたのは、父親を中心とした「家」の制度が支配する、保守的な社会だった。娘チエンは消えゆく台湾土着の葬送文化〈牽亡歌陣〉とともに、レズビアンである母の、ありのままの姿を映像に収め続ける。多くを語りたがらない母に、娘が口に出せずにいた想いをぶつける時、世代や価値観を越えてふたりが見つけた答えとは――？

日常対話

監督・撮影：ホアン・ファイチェン(黄惠慎)
製作総指揮：ホウ・シャオシェン(侯孝賢)
プロデューサー：リー・ジアウェン(李嘉雯)
撮影指導：リン・ティンジェ(林鼎傑)
編集：リン・ワンユイ(林婉玉)
編集顧問：レイ・チェンチン(雷震卿)
音楽：リン・チャン(林強)、ポイント・シュー(許志遠)
2016年/台湾/台湾語、中国語/カラー/88分
原題：日常対話 英題：Small Talk
配給：台湾映画同好会

smalltalktw.jp @smalltalktw



多様性に不寛容だった時代から、
変わったもの、変わらないもの――
歳月をかけて記録された
母と娘の映像が今、
私たちに問いかける。

2021年7月31日[土]ロードショー!

ホアン監督が家族の物語を文字で編んだ 7月から全国書店で販売予定
書籍『筆録 日常対話 私と同性を愛する母と』(サウザンブックス社)



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分

